



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社GSI 上場取引所 札
コード番号 5579 URL <https://glue-si.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小沢 隆徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理事業部長 (氏名) 原田 裕 TEL 011(726)7771
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,014	—	178	—	176	—	121	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	65.11	—
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 2023年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年3月期第2四半期	2,831	—	1,907	—	67.4
2023年3月期	2,471	—	1,512	—	61.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,907百万円 2023年3月期 1,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,977	—	377	—	364	—	244	—	126.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表の作成を予定しているため、対前期の増減率については記載しておりません。連結業績予想の修正については、本日(2023年11月14日)公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,000,000株	2023年3月期	1,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,859,016株	2023年3月期2Q	一株

(注) 2023年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2023年8月14日公表「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における業績予想は非連結のものでありましたが、第3四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しております。なお、詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍後の反動やインバウンド需要の増加等により、社会経済活動の正常化が進展し、個人消費を中心に景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化による資源・原材料の高騰、世界各国での金融引き締めによる金利上昇、円安傾向の継続などにより、今後の国内景気の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で当社の属する情報サービス産業におきましては、デジタル社会が急速に進展しており、ソフトウェア投資、並びにIoT/AI/RPAなどのDX技術を活用した業務プロセスやビジネスモデルの変革がグローバルで進展する中で、IT投資需要の更なる増加が期待されています。

当社を取り巻く環境は、テレワークの進展、オンライン化、働き方の多様化への対応が求められる中、既存顧客との関係維持、満足度の向上を図るとともに、新規人材の採用・育成、営業体制及びビジネスパートナーの強化による新規顧客の開拓、新規案件の獲得及び既存案件の追加獲得に注力し、幅広い業種や業態の顧客ニーズに応えられる体制作りを強化してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,014,698千円、営業利益は178,369千円、経常利益は176,378千円、四半期純利益は121,037千円となりました。

当社は、システム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりです。

(資産)

流動資産は、2,436,923千円（前事業年度末比450,023千円の増加）となりました。これは主に現金及び預金の増加232,507千円、売掛金及び契約資産の増加126,494千円、投資有価証券からの振替による有価証券の増加87,310千円によるものです。

固定資産は、394,448千円（前事業年度末比90,490千円の減少）となりました。これは主に投資その他の資産合計の減少97,612千円によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、2,831,372千円（前事業年度末比359,533千円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、818,394千円（前事業年度末比3,773千円の増加）となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少36,800千円、未払法人税等の減少18,340千円、役員賞与引当金の減少2,750千円があったものの、未払費用の増加54,950千円によるものです。

固定負債は、105,503千円（前事業年度末比39,666千円の減少）となりました。これは主に長期借入金の減少39,666千円によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における総負債は、923,897千円（前事業年度末比35,892千円の減少）となりました。

(純資産)

純資産は、1,907,474千円（前事業年度末比395,425千円の増加）となりました。これは主に資本金の増加186,300千円、資本剰余金の増加186,300千円によるものです。

この結果、自己資本比率は、67.4%（前事業年度末は61.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前事業年度末より232,507千円増加し、1,749,865千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、契約資産の増加額、未払消費税等による減少があったものの、税引前四半期純利益の計上、賞与引当金、未払費用、仕入債務の増加等により、46,798千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の売却による収入等により、5,077千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、長期借入金の返済による支出、配当金の支払による支出等があったものの、株式の発行による収入等により、180,631千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年10月2日付「障害者就労支援事業子会社設立に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、2024年3月期第3四半期決算より連結決算へ移行いたします。

詳細につきましては、本日（2023年11月14日）公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,517,358	1,749,865
売掛金及び契約資産	453,436	579,930
有価証券	—	87,310
仕掛品	3,807	5,259
その他	12,296	14,557
流動資産合計	1,986,899	2,436,923
固定資産		
有形固定資産	237,609	245,103
無形固定資産	2,183	1,811
投資その他の資産	245,146	147,534
固定資産合計	484,939	394,448
資産合計	2,471,839	2,831,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,988	71,290
1年内返済予定の長期借入金	127,932	91,132
未払費用	205,468	260,418
未払法人税等	97,066	78,726
賞与引当金	196,400	226,715
役員賞与引当金	5,500	2,750
その他	118,265	87,361
流動負債合計	814,621	818,394
固定負債		
長期借入金	145,169	105,503
固定負債合計	145,169	105,503
負債合計	959,790	923,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	106,029	292,329
資本剰余金	11,988	198,288
利益剰余金	1,393,675	1,412,713
株主資本合計	1,511,692	1,903,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	356	4,143
評価・換算差額等合計	356	4,143
純資産合計	1,512,048	1,907,474
負債純資産合計	2,471,839	2,831,372

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,014,698
売上原価	1,563,662
売上総利益	451,036
販売費及び一般管理費	272,666
営業利益	178,369
営業外収益	
受取利息	1,495
受取配当金	105
投資有価証券売却益	1,563
投資有価証券評価益	2,890
受取手数料	2,718
助成金収入	2,700
その他	631
営業外収益合計	12,102
営業外費用	
支払利息	591
株式交付費	3,358
上場関連費用	10,143
営業外費用合計	14,093
経常利益	176,378
税引前四半期純利益	176,378
法人税等	55,340
四半期純利益	121,037

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	176,378
減価償却費	6,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,315
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,749
受取利息及び受取配当金	△1,600
投資有価証券売却益	△1,563
投資有価証券評価益	△2,890
支払利息	591
株式交付費	3,358
上場関連費用	10,143
売上債権の増減額 (△は増加)	2,609
契約資産の増減額 (△は増加)	△129,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,302
未払金の増減額 (△は減少)	△3,618
未払費用の増減額 (△は減少)	54,962
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,500
その他	1,863
小計	119,359
利息及び配当金の受取額	1,761
利息の支払額	△574
法人税等の支払額	△73,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	19,293
有形固定資産の取得による支出	△13,435
その他	△781
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△76,466
配当金の支払額	△102,000
株式の発行による収入	369,241
上場関連費用の支出	△10,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	232,507
現金及び現金同等物の期首残高	1,517,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,749,865

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日に札幌証券取引所本則市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2023年6月26日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式300,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ186,300千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が292,329千円、資本剰余金が198,288千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(子会社の設立)

海外子会社の設立

当社は、2023年9月15日開催の取締役会において、以下の通り子会社を設立することを決議いたしました。

(1) 設立の目的

国内におけるソフトウェア開発に関わるIT人材不足は深刻で、IT人材の採用は年々厳しさを増しています。当社は、開発需要とコスト競争に適切に対応し、ソフトウェア開発をさらに強化することを目的に、新会社を設立することといたしました。フィリピンは、緊密かつ友好的な国家関係もあり、アジアでも有数の親日国家として知られています。ソフトウェア開発において高い技術力を有し、IT人材が豊富であるため、優秀なIT人材を確保し、コストメリットを享受できると期待しています。

設立後は、現地での採用と人材育成を積極的に推進し、中核拠点として事業を展開していきます。

(2) 設立する会社の概要

①名称	Be UNIQUE, Inc.
②所在地	MAKATI CITY, PHILIPPINES
③代表者	工藤 雅之（当社代表取締役会長）
④設立年月日	2024年1月1日（予定）
⑤事業の内容	ソフトウェア開発・保守サービス
⑥資本金	1,200万フィリピン・ペソ
⑦出資比率	当社 99.99%

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

障がい者就労支援事業子会社の設立

当社は、2023年10月2日付の会社法第370条及び当社定款第27条に基づく書面決議による当社取締役会の決議において、以下の通り子会社を設立することを決議し、2023年10月5日に設立が完了いたしました。

(1) 設立の目的

当社は、企業の社会的責任の一環として、障がい者の安定した職場環境の確保を図り、障がいを持たれた方が能力を発揮できる職場を作ることを目的に「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社の認定取得を前提として新会社を設立することといたしました。

(2) 設立する会社の概要

①名称	株式会社Career Ways
②所在地	北海道札幌市北区太平3条1丁目2-22
③代表者	工藤 雅之 (当社代表取締役会長)
④設立年月日	2023年10月5日
⑤事業の内容	障がい者に対する就労支援
⑥資本金等	資本金20,000,000円、資本準備金20,000,000円
⑦出資比率	当社 100%

(3) 連結決算への移行について

当社は、本件子会社の設立に伴い、2024年3月期第3四半期より、連結決算への移行を予定しております。